


|  |   |
|--|---|
| <b>臨時開催<br/>T O O 6</b>  | <h1>インド特許の実務</h1> <h2>～米中からインドの時代へ～</h2>  |
| 講座レベル ★★★  | インド弁理士が実務現場から「インド特有の特許制度」を解説！<br>日本人の盲点をモデレータによって指摘   |
| 講師   | インド弁理士 バパット・ヴィニット (株)サンガム IP、Sagacious Research(株)  |
| モデレータ  | 八巻隆博 (日本パテントデータサービス(株) 知財研修部 部長、元住友金属工業(株) 知的財産部長)  |
| 日程・場所  | 東京会場<br>2026年10月8日(木)   |
| 時間   | 1日間 (10:00～16:00)   |
| アクセス   | <a href="https://www.jpds.co.jp/company/access/">https://www.jpds.co.jp/company/access/</a> |
| 定員   | 東京会場 24名 (先着順申し込み)  |
| 受講料  | 22,000円 (税込 24,200円)  |
| 対象   | 知的財産部、研究・開発部門の実務担当者   |
| <b>内 容</b>   |   |
| <p>米中デカップリングの中で存在感を増すインド。いまや「世界最大の市場」であるだけでなく、R&amp;D拠点としての注目度も急上昇しています。一方で、進出企業を悩ませるのがインド特許制度の独特さです。</p> <p>本講座では、日本語堪能なインド弁理士が、制度の背景や運用実態、最新の法改正情報までを現場視点でわかりやすく解説します。「審査官と管理官」、「国内実施報告義務」、「拒絶理由解消期間」など、日本の実務とは異なるポイントを徹底整理。インド特許実務の『本質』を短時間で掴むチャンスです。</p>   |   |
| <b>プログラム</b>   |   |
| <p>第一部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インド国家の概要 (歴史、民族、宗教など)</li> <li>・ インド特許庁の組織と運用 (審査官と管理官の役割など)</li> <li>・ 特許出願と審査 (4つの特許庁での審査の実態)</li> <li>・ 審査請求期間、拒絶理由解消期間</li> <li>・ FER (最初の審査報告)、SER (後続の審査報告)</li> <li>・ ヒアリングの活用</li> </ul> <p>第二部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連外国出願の情報提供義務、国内実施報告義務</li> <li>・ 強制実施権、付与前異議申立て、付与後異議申立て</li> <li>・ 無効訴訟と特許取消しの反訴</li> </ul> <p>質疑応答</p> |   |
|   |   |

## 【お申込み】

弊社ホームページよりお申し込みください。

URL: [https://www.jpds.co.jp/ip\\_seminar/schedule/](https://www.jpds.co.jp/ip_seminar/schedule/)

## 【備考】

- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。